

特別支援学級 食に関する実践記録

1 教材名「育てた枝豆を調理して食べよう」(自立活動)

2 ねらい

- ・ 集団の雰囲気に合わせてたり、集団に参加するための手順やきまりを理解したりして、遊びや集団活動に積極的に参加できるようにする。(人間関係の育成)
- ・ 収穫してすぐの枝豆を調理して食べることで、そのおいしさを知り、食の幅を広げる。(環境の把握)
- ・ 枝豆を枝からちぎり取ったり、泥を丁寧に洗い落としたりすることで、指先の巧緻性を育てる。(身体の動き)

3 学習の展開

学習活動	指導上の留意点(○)教師の支援(●)	・資料 ★評価
1 野菜を収穫する。	○畑に集合。2本の枝豆を、力を合わせて抜く。	
㊦ しゅうかくした えだまめを すぐ ちょうりして たべよう。		
2 調理の手順を知る。	○目の前で実際にやってみせる。 ○やることのかんたんな手順をホワイトボードに書く。	★房を自力で取ったり丁寧に洗ったりすることができたか。(身)
3 調理する。		★他の児童と協力して作業を行ったり、気持ちよく食べたりしようとしていたか。(人)
① 1ふさずつとって、1ふさずつ丁寧に洗う作業を繰り返す。	○1ふさずつとらせることで、全員が待ち時間なく作業できるようにする。 ●丁寧に洗う姿をほめて意欲を引き出す。	
② 水を鍋に入れて、塩を入れる。	○高学年にガスコンロの火をつける役を頼み、低学年のお手本になってもらえるようにする。	
③ 沸騰したお湯で4分間ゆでる	●ゆでる様子を一緒に観察し、気づきがあった児童の発言を取り上げる。	
4 食べる。	○食べる前にはもう一度丁寧に手を洗わせる。	★おいしさを味わうことができたか。(環)
5 ふりかえる。	●一言ずつ感想を言う際、肯定的な反応を返すことで、自信につながるようにする。	

4 成果と課題

- ・ 収穫したての枝豆を自分たちで調理して食べたことで、今まで食べず嫌いだった児童も枝豆をいくつも食べ、おいしいと感じることができた。家で「えだまめが食べたい」とリクエストした児童もいた。
- ・ 収穫から調理までだいたい1時間で終わらせることができたので、授業で扱いやすかった。



一房取る様子

湯切り

一房ずつ味わって食べる様子